

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年2月1日 (2018.2.1)

【公開番号】特開2016-119285(P2016-119285A)

【公開日】平成28年6月30日 (2016.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2016-039

【出願番号】特願2015-121649(P2015-121649)

【国際特許分類】

H 0 1 T 23/00 (2006.01)

C 0 1 B 13/11 (2006.01)

H 0 1 T 19/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 T 23/00

C 0 1 B 13/11 G

H 0 1 T 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月15日 (2017.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の金属層を、第 1 の空洞パターンで形成し、  
 第 2 の金属層を、前記第 1 の空洞パターンと異なる第 2 の空洞パターンで形成し、  
 前記第 1 の空洞パターンで形成された第 1 の金属層と、前記第 2 の空洞パターンで形成された第 2 の金属層とを、積層し、  
 電極を、前記第 1 及び第 2 の空洞パターンの中心軸に配置し、前記電極から前記第 1 の金属層までの距離を前記電極から前記第 2 金属層までの距離より大きくし、  
 前記第 1 及び第 2 の金属層、並びに前記電極間でコロナ放電を発生し、イオン及びオゾンの風を発生する装置。

【請求項 2】

前記第 1 の空洞パターンは、前記中心軸を基準に第 1 及び第 2 の空洞領域を含み、  
 前記第 1 の金属層は、前記第 1 及び第 2 の空洞領域の間の第 1 の金属領域を含み、  
 前記第 2 の空洞パターンは、前記中心軸を基準に第 3 及び第 4 の空洞領域を含み、  
 前記第 2 の金属層は、前記第 3 及び第 4 の空洞領域の間の第 2 の金属領域を含む、  
請求項 1 に記載の装置。